

7・メイドコスで濃厚主従えっち

1からそのまま続き。

トワ、主人公をベッドの方へ導く。

最初5秒ほど無音。その後セリフ。

●中央

「『さあさあ』が縮まり『ささ』になる」

ささ♥ その天蓋付きベッドにおかけ下さい♥」

SE1…主人公がベッドの上に座る音

【すべて流す。音量小さめに】

SE2…トワが、主人公の膝の上にまたがる音

【頭から流す。0―1秒目の、『ぼすっ』のみ流す】

●上

「主人公の膝の上に乗りながら」

「それで♥ トワはこうやって♥ ご主人様のお膝に乗っちゃいます♥  
わ〜い♥これでご主人様独占ですう♥」

主人公、真っ赤になってトワを見上げている。

対するトワ、主人公が予想以上に喜んでくれているようなので嬉しい。

『嬉しい〜！ 今日は何でもやっちゃいますマジで♥』と思っている。

●中央

「ちなみに本日設定としてはあ♥ あのえっちな映画にならう感じで♥

アナタはとある大企業の次期当主で♥

とってもとっても偉いけど。

それ以上にえっちなことに超興味津々な変態さんです♥

対するトワメイドは♥

日々高ぶり続ける、アナタの若き欲望を満たすため選ばれた♥

いわばえっち専用メイドです♥

そして今日はいよいよえっちメイドとしての初仕事♥ 的な♥

なのでトワのことは。

【『トワ』を芝居がかってコミカルに言う。目上が目下を呼ぶような、偉そうな口調で】

『トワ』と呼び捨てで♥ 偉そうな感じでお呼び下さ〜い♥」

〈主人公〉

「とわ！」

●中央

【主人公がノってきたので嬉しい】

そうです！

●右 さちやん

【「さちやん」】

つまり今日は♥ トワメイドとアナタご主人様の初えっち♥ です♥」

トワ、本日のイメージプレイの設定として語りながらも、自分の過去を思い出してしまう。  
『トワとアナタの初えっち。それはなんと素晴らしい思い出だったことか……』『あの頃のトワはウブでしたねえ……』と思いめぐらせているうちに、なんだか本当に今日が初めてのえっちのような気がしてくる。

『いや、イメージが初めてなのは間違いありませんが……。じゃあ、やっぱりこれは初えっち？』と、どんどんキドキしてくる。

つまり、役を演じるうちに、役に飲まれつつある。

メイド服と洋館風ラブホテルというアイテムが、トワをどんどんメイドにしている。

●中央

「だけどトワメイドのラブ度はすでにマックスです♥

それは。元々ご主人様にお仕える身で♥ 片想いしたので♥

ずっとこの日を待ってたからです♥

●右 さちやん

【ゆっくり、いやらしくさちやん】

毎日アナタを思っ♥ アナタにめちやくちやにされる妄想しながら♥ オナニーしてたんですよ♥

●中央

だから♥ ご主人様の欲望のはけ口になれることが♥

と〜っても嬉しいんです♥」

〈主人公〉

「わたしも……わたしも嬉しいよ……！ トワ……！」

●中央

「うふ♡ ご主人様♡ だ〜い好き♡

●左 ささやく

【優しくささやく】

……キスしてもいいですか？」

〈主人公〉

「うん……♡」

●中央

【ゆっくり、重ねるだけのキスを深めに一回】

ちゅっ♡

●左 ささやく

【優しくささやく】

好き♡

〈主人公〉

「わたしもだいすき……♡」

●中央

【※20秒※ ほど、優しく、ゆっくり目の甘いキス。だんだん深くなる】

ん……♡ ん♡ ちゅ♡ ん♡ んう……くちゅっ♡ れろっ……くちゅっ♡ ちゅっ♡

ちゅばっ♡

【※7秒※ ほどかけて荒い呼吸を整える】

はぁ……はぁ……はぁ……はぁ……はぁ……♡

そこで主人公、トワと密着してキスしながら、あることに気づく。

トワの服の胸のところ。いわゆる『乳袋』から、何か突起物が当たっているような感触があるのだ。

つまりそれは……。

主人公、薄い布の下にあるもののことを思うと、気絶しそうなほど興奮してしまふ。

〈主人公〉

「あの……トワちゃん、あの……」

●中央

「優しく。『なあに？』という感じで」

ん？

●左

セリフ終わります！

【優しくささやく】

あ♡ 気付いちゃいました？

ご主人様が♡ すぐいたずらできるように♡

【この『ちゃんとノーブラ』だけ、ひときわゆっくりささやく】

ちゃんとノーブラ。

ですよ♡

胸元のここ♡ くいって下ろしたら♡

ご主人様のだくいすきな生おっぱい♡

見えます・よ♡」

主人公、大興奮でトワの胸を凝視している。

トワ、主人公に露骨に性的な目を向けられ、興奮するとともに、とても嬉しくなる。

トワ、おふぎのメイドコスだったのに、なんだか真剣に嬉しい。

優しく繊細でストレスをためやすい主人公の欲求のはけ口に、今日はなれているのだと思うと『メイド服買ってよかった〜！』という気持ちになってくる。

〈主人公〉

「見たい……。トワの生おっぱい。見せて……？」

●中央

【「くっ。とっぱを飲み込むほど興奮して」

うん♡ いいよ♡

●左

ささやく

【優しくささやく】

トワのおっぱいは♡ ご主人様専用のおっぱいですよ♡「♡

SE3

…主人公がトワの服を、胸の部分だけ脱がせる音

【頭から流す。0―3秒ほどまで流す。

具体的には、このあたりに入ってしまったっている『コカッ』という雑音の手前程度まで流す】

トワ、胸の部分だけ優しく引っ張りおろされ、胸だけ露出した状態になる。

●中央

「脱がされて、自分でも意外なほど恥ずかしくなる」

あっ……♡

【3回分、興奮した浅い呼吸をする】

はあ、はあ、はあ♡

【余裕ぶっているが、すでにかなり恥ずかしい】

ああ……♡

【照れ笑いする】

おっぱい。見られちゃった♡」

〈主人公〉

「トワ。おっぱい触りたい……。いいかな……？」

●中央

「興奮を抑えようと、ゆっくり呼吸をする」

はあ……はあ……♡

うん♡ いいよ♡ アナタはご主人様なんですから♡

●左 ささやく

【甘えた口調でささやく】

ちゅきなだけもみもみして♡」

主人公、トワの胸を揉み始める。

●中央

「ひとときわ高い声が出る。胸を揉まれ始めて、自分でも驚くほど感じてしまう」

あ♡

【感じすぎて、思ったように声が出せない】

あっ♡ あっ……はあ ああっ♡

【『でも、あ♡』で乳首を触られる。なんとか話そうとするが、うまくいかない】

「ご主人様のお手手可愛い……♡ でも、あ♡ やらしい♡ はあ、はあ、はあ……あっ♡

【ひとときわ高い声が出る】

ああっ♡

【乳首を軽くつままれて】

えっちっ……♡

もみもみっ♡ あ♡ お上手♡ んっ♡ ですねっ♡

【乳首を軽くつままれて、びくつとする】

んうっ♡

【荒い呼吸を整えようとするが、うまくいかない。途中で喘いでしまう】

はぁ……はぁ……はぁ……はぁ……あぁっ♡

【まさか胸だけでこんなに感じてしまうとは思っていなかった。完全に想定外で、混乱し始める】

ご主人様、すごいよぉ♡」

〈主人公〉

「えへ……。トワのお乳。先っぽ、かちかちになっちゃったね？ ピンクで可愛いよ……♡」

主人公、やはり『ご主人様』扱いされるのは大きく、普段より積極的になる。

何よりも胸だけ露出させられたトワがあまりにもいやらしいので、どんどん興奮してしまふ。

●中央

【主人公に言葉攻めされ、想像以上に恥ずかしくなる】

えっ♡

【荒い呼吸を整えようとするが、うまくいかない】

はぁ……はぁ……はぁ……はぁ……はぁ……♡

【甘えた声で認める】

うんっ。ご主人様がすけべなお手でもみゅもみゅするからぁっ♡

トワ気持ちよくてっ♡ 乳首おつきしちやっただのっ」

〈主人公〉

「じゃあ、もっとしようね。もっともつとかちかちになったら、つまんであげるね」

●中央

【もまれるだけで乳首をいじってもらえず、もどかしくなる】

あぁっ♡ んっ、ん♡ あ……♡

【懇願する。当初はいつも通りリードするつもりだったのに、すっかりMモードに入りつつある】

ね、いじって？ おつきしちやっただ乳首ごろごろっ。すりすりっして？  
ちゅうちゅうして、ご主人様のお汁でどろどろにして？  
もみもみだけじゃ切ないよぉ」

〈主人公〉

「ふふ……♡ こうかな？」

●中央

「ひとときわ高い声が出る。すごく気持ちいい強さでつままれ、めろめろになる」

ああっ♡

【※10秒※ ほど喘ぐ。心地よい強さでつままれ、ゆっくりした呼吸でじっくり感じている】

あっ♡ いい♡ はぁ……はぁ……ああ♡ はぁ、はぁ。あああ♡

【甘えた声で認める】

ご主人様っ♡ いいっ……♡ すっごく気持ちいいよぉ♡」

トワ、主人公にゆっくり、やさしく、たっぷり攻められて、完全に受けモード、Mモード。『最近トワが攻めることが多いので忘れそうになってましたけど。この人、ラブラブあまあまじっとりセックス超上手いんですた……♡』と思い出し、胸の愛撫だけでとろけそうになってくる。

●中央

「※7秒※ ほどかけて荒い呼吸を整えるが、結局次でまたいっぱい喘いでしまう」

はぁ……はぁ……はぁ……はぁ……♡

【またひとときわ高い声が出る】

あ♡

【「どんな余裕がなくなる。すっかり夢中で、されるがまま胸を愛撫され続ける」

ん♡ あっ♡ はぁ……はぁ……はぁ……ああっ♡

ご主人様ぁ。そんなこりこりだめえっ。

トワのこり、もっとおつきしちゃうっ♡ きもちい♡ トワ感じちゃうよう♡

あっ♡ いいっ♡ おっぱい気持ちいいよぉ……♡

【乳首を吸われてうれしくてたまらない】

ああ♡

【「うまく話せない」

えへ……♡ トワのおっぱいおいしい？ た♡ くさん♡ んっ♡ 飲んで♡ あ♡  
ねっ？

【『好きなだけ』が途切れて『好♡ きなだけ』になる

はぁ、はぁ♡ ご主人様のちゅうちゅうもっ♡ こりこりも♡ すっごくいいよ♡  
好♡ きなだけっ♡ してねっ♡」

主人公がここで一度顔を上げて、キスをする。

●中央

【※15秒※】ほどキスされる。されるがままの濃いキス】

んっ！ んんう♡ んんっ！ ちゅるる……ちゅっ♡ んんうっ♡

【乳首をいじられ、びくんびくん感じてしまう】

あっ♡ やああん● こりこり好きっ……好きいつ♡ ああっ♡

【※7秒※】ほどかけて荒い呼吸を整える】

はぁ……はぁ……はぁ……はぁ……はぁ……♡

【攻めがやんだので、不思議そうに】

……ご主人様？

【軽くキスされる】

ん♡」

〈主人公〉

「トワ♡ ご主人様、トワにお願いしたいことがあるんだけど……」

トワ、主人公に優しくお願いされて、なんだかホッとする。

『てっきり欲望ガンぶつけられ系セックスになると思ってたのにこんなのやばうい！  
物腰柔らかい、従者を大切にする系ご主人様とじっとりラブラブあまあまセックスするつてシチュエーション、めっちゃめっちゃ感じちゃうんですけどお……』と、すっかり興奮している。

主人公を癒すつもりだったのに、もう完全にイメージプレイにのめり込んでいる。

●中央

【まだ呼吸は荒いが安心して、甘えた口調で】

はぁ、はぁ♡ なぁに？」

〈主人公〉

「トワのスカートの中。どうなってるのか見せて？

とろとろだったら、わたし、気持ちよくしてあげたいな」

●中央

【そう来るとは思わず、恥ずかしくなる】

えっ♡

スカートの中、です？

【こうは言いつつも興奮している】

ご主人様のえっち……♡」



〈主人公〉

「どうなってるのか。スカート上げて。見せて……♥」

トワ、ここで主人公がまた恥ずかしいところだけ露出させたと察する。

『えっちすぎ……』『主従えっちやばい！ 優しくえっちな命令されるのやばい！』と思  
いながらも、喜んで従ってしまう。

●中央

【「荒い呼吸で」

はい♥ わかりました……♥ トワ。スカート自分でめくって♥ 持ってますから♥ 中、  
見て下さい♥」

SE4

…トワがスカートを、自分でたくし上げる音

【途中から流す。8―12秒ほどまで流す】

●中央

【※7秒※ ほどかけて荒い呼吸を整える】

はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……♥

【「甘えた、いやらしい声で」

ぱんつも。見られちゃった♥

はあ、はあ♥ ご主人様はっ♥ はあ、はあ♥ 変態さんですね♥

こんなにやらしい方だったなんて♥ 知らなかったです♥

【※7秒※ ほどかけて荒い呼吸を整える】

はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……♥

おっぱいと。ぱんつだけ、見えちゃってる。

こんな恥ずかしい格好♥ ご主人様にしかっ♥ 見せられませんっ♥」

〈主人公〉

「トワ、可愛い……♥ すっごく濡れてるね。すごいね？

ぱんつに染みができて、色が変わっちゃったね？」

●中央

【「甘えた、いやらしい声で」

うん♥ 濡れてるっ♥ ご主人様大好きで♥ いっぱい触ってもらえて嬉しいからっ♥

トワのぱんつの中♥ とろとのぐちゅぐちゅになっています♥

【少し間を置いてから】

ねえ♡ 見て……?」

トワ、我慢できなくなり、自分で下着に手をかけ、パンツを下ろす。

SE5 …トワが下着を、自分で脱ぐ音

【SE3と同じ音。途中から流す。18―22秒ほどまで流す】

●中央

【触ってほしくて、甘えた声を出す】

「ご主人様あ♡」

〈主人公〉

「……すごいね。こんなになっちゃったんだね」

SE6 …主人公がトワの股間に触れる音

【すべて流す。音量小さめに】

●中央

【触ってもらえて、嬉しくてたまらない】

「ああ♡」

SE7 …主人公がトワの股間をいじる音

【頭から流し、33秒まで流す。音量小さめに】

【「甘えて」

うん♡ だってご主人様。えっち上手いからあ♡

トワ、きもちくて。もお変になっちゃったの♡

【※20秒※ ほど、ゆっくり静かにあえぐ。ゆっくり愛撫されているので余裕がある】

あ♡ んっ♡ はあ、はあ、あっ……♡ あ、あ、あ♡ ああっ♡ あ。ああ♡ はあ♡

はあ、はあ、はあ♡」

〈主人公〉

「トワ、可愛い……♡ こうしてたら、もっと濡れちゃうね♡」

トワ、感じるあまり、主人公に抱きつく。

主人公の左耳側から話している形になる。

●左 至近距離

【主人公に抱きつきながら】

うん♥ ああ♥ これっ♥ きもちいから♥ もっとぬるぬるっ♥ 溢れちゃう♥」

〈主人公〉

「じゃあ。なめなめして綺麗にしよっか」

トワ、これを聞いて、ベッドに入り、座って舐めてもらうのだと解釈する。

ここでSE7をフェードアウトする。

●左

【通常のクンニをしてもらうのだと思っている】

うん♥ なめなめして♥ トワのぬるぬるおまんこ♥ なめなめして♥」

〈主人公〉

「そしたら、もう一回スカート持って？」

トワ、これを聞いて、抱きつくのをやめる。顔が、主人公の正面に戻る。

●中央

【状況がよく呑み込めない】

ん？ スカート、もう一回めくるの？ ううっ」

SE8…トワが自分のスカートを持ち上げる音

【SE4と同じ音。途中から流す。25―30秒ほどまでを流す】

〈主人公〉

「そう。そのまま♥ わたしのお顔のところにおいで」

●中央

【驚く】

あっ……？ ご主人様のお顔、乗るのっ？」

〈主人公〉

「いやかな？」

●中央

【「必死で否定する」

ううんっ！ やじゃないっ♥

【『でも、は、恥ずかしいよお』が『でもは、恥ずかしいよお』になる】

でも、は、恥ずかしいですよ。ご主人様のお顔におまんこ押し付けるなんてっ♥

【「思わず素に戻ってしまう」

そんなの、したことないしっ♥」

〈主人公〉

「じゃあ、やめておこうか。トワが嫌なことはしたくないし……」

●中央

【「懇願する」

やだっ♥ やめちゃやだっ♥ するっ♥ するからあ♥

ぺろぺろしてっ？ トワのおまんこ♥ お顔で受け止めて♥ なめなめして下さい♥」

SE9…主人公がベッドに横になる音

【途中から流す。8—14秒ほどまで流す】

SE10…トワが主人公の顔の上にまたがる音

【頭から流す。0—1秒ほどまで流す。音量小さめに】

ここから509まで、少しこもった印象の音になる。

トワ、初めての顔面騎乗に挑戦する。

ドキドキと興奮しつつも『確か、乗られている側が本当に苦しくならないように、ギリギリの高さにお股沈めるんだよねえ……？』と、おっかなびつくりで、主人公の顔に股間を沈める。

結果、愛撫をやめれば、主人公がなんとか会話できる高さになる。

●上

【「主人公の顔の上に股間を下ろしながら」

ああっ……っ♥

【「照れ笑いする」

えへ……♡ トワメイドなのに♡

ご主人様に顔騎（がんき）しちゃいました♡

いけないメイドさんでっ♡ えっち大好きでっ♡ ああっ♡ ごめんなさい♡」

SE11…主人公がトワの股間をなめる音

【頭から流す。481まで繰り返す。セリフの邪魔にならないように小さめの音量で】

●上

「舐められ始めて」

んっ♡ ……ああっ♡ はあ、はあ、はあ♡ あっ♡

ご主人様あ♡ ペろペろきもちい♡ 気持ちいいです♡

【普通に話そうとするが、感じるあまり喘いでしまう】

あ♡ ご主人様のベロと息がっ♡ んんっ♡ トワのクリちゃんに当たって♡ いいっ♡  
気持ちいいですっ♡ ※ここでSE11がストップ。

SE12…主人公がトワの股間をなめる音2

【頭から流す。494で一度止まった後、再開し、519まで繰り返す。セリフの邪魔にならないように小さめの音量で】

●上

「声が甘く、高くなる」

あ♡ あ♡ あっ♡

【すがるように】

ご主人様あ。トワ、きもちくってお股動いちゃう。クリペろきもちいよう♡ あ♡ あ♡」

〈主人公〉

「トワのおまんこ、おいしいよ」

●上

「おいしいなんてっ♡ やだあ♡」

〈主人公〉

「いっぱい気持ちよくなってね。気持ちよくなってるって、わたしに見せて？」

●上

「うん♡ 頑張る♡ ペろペろ嬉しいからトワ頑張る♡」

【もはや完全に理性を失い、喘ぎながら話すのが精いっぱい。】

あ♥ ご主人様のベロでいくところ♥ あっ♥ ちゃんと♥ 見てもらえるように頑張ります♥

【必死に浅い呼吸をする】

はあ、はあ、はあ、はあ♥

【声が甘く、高くなる】

ああっ♥

【なんとか主人公を喜ばせようと、いやらしいことを言う】

あっ♥ ……ね♥ ご、主人様♥

トワっ♥ んっ♥ ご主人様のお顔にっ♥ あ♥ おまんこっ♥ 乗せてっ♥

【『はしたなく』と言おうとして、途切れて『はっ、したなく』になる】

はあ、はあっ。はっ、したなくあんあんして♥

【『びくんびくん♥』を甘ったるく】

びくんびくん♥ ってイけるように♥

ご主人様のベロにクリちゃん押し付けてっ♥ 一生懸命腰ふりふりします♥

はあ、はあ、はあ、はあ♥ ※ここでSE12がストップ。

※ここで音がこもった編集ストップ

SE13 …トワが自分のスカートを持ち上げる音

【SE10と同じ音。途中から流す。2―3秒ほどまで流す】

●上

「きもちくなってる声♥ あっ♥ ちゃんっ♥ 聞いてもらうためにっ♥

スカートっ。めくって♥

下のお毛々(けけ)はつきり見えるくらいにして♥ ペロペロしてもらいます♥」

SE14 …主人公がトワの股間をなめる音3

【頭から流してループする。547で速度が上がり、559まで繰り返す。セリフの邪魔にならないように小さめの音量で】

●上

【「うっとり、幸せそうに」

ご主人様♥ トワすっごく気持ちいいよ♥ ご主人様のベロでイけるの、嬉しいよ♥

【※30秒※ ほど喘ぐ。感じすぎて、ほとんど泣いている。甘々な、可愛くて高い喘ぎ声】

ん♥ ん♥ ん♥ ああっ♥ きもちい♥ ああっ……♥ いいっ♥ いいっ♥ いいよ

う♡ ああ……いいっ♡ 好きっ♡ あ♡ あ♡ あっ♡

【絶頂が近くなる。声が甘く、高くなる】

ご主人様好きいつ。好きっ♡ 好きっ♡ 好きっ♡ 好きっ♡

※ここでSE14の速度が若干上がる。

【※20秒※ ほど喘ぐ。声が低くなる。イきたいが、まだセックスしていたいので、ゆっくり呼吸して耐えようとする】

あ。うつ、あっ♡ ああ……ああ……ああ♡ ああ。ああ、あ♡ はあ……はあ……はあ……はあ♡

【イくのを悟る。ほとんど泣いている】

ああ……♡ イ……く♡

【絶頂しそう。やや早口になり、ほとんどしゃくりあげている】

ご主人様トワイくっ♡ もうイクっ♡ イっちゃうのっ♡

好きっ♡ 好きっ♡ 好きっ♡

【声が低くなる。必死で大きな声にならないように耐えるような絶頂の仕方】

ああっ。……イクっ……♡ ※ここでSE14がストップ。

SE15 …トワが、力なくベッドに倒れ込む音

【途中から流す。13―16秒ほどまで流す。音量かなり小さめに】

トワ、絶頂して倒れ込み、主人公から見て右側へ倒れる。

●右

【※15秒※ ほどかけて、ゆっくり荒い呼吸を整える】

はあ……はあ……はあ……はあ……♡ はあ……はあ……ああ……ああ……♡

【甘えて、可愛く。目に涙をにじませている】

ご主人様♡ 気持ちよかったよお♡

SE16 …主人公がトワに覆いかぶさる音

【途中から流す。3―6秒ほどまで流す。】

●中央 至近距離

【唇を重ねるだけのキスをする】

ん♡ ちゅっ♡

【甘えて、可愛く。目に涙をにじませている】

好き♡ だあい好き♡ ……いっぱい可愛がつてくれて♡ ありがとう♡  
「

このまま、フェードアウトしてトラック終了。